

山崎産業株式会社は、サイバスロン 2020 年スイス大会に出場する和歌山大学に、遠征費用の一部として 100 万円を寄付し、2020 年 3 月 2 日 伊東千尋学長より感謝状を授与されました。

サイバスロンは、最先端の技術を駆使して開発された義手、義足、電動車いすなどを用いて、障害のある人たちが日常生活に必要な動作で競う国際競技大会です。(※1) 技術者と、技術を操縦する「パイロット」と呼ばれる障害のある人たちが、開発の段階から協力してレースに挑みます。

和歌山大学からは中嶋 秀朗教授率いるサイバスロンプロジェクトチーム「RT-Movers」が 2016 年スイス大会の電動車いす部門に出場し、日本のチームで唯一決勝に進み世界 4 位の結果を残しました。今回 2020 年 5 月のスイス大会で世界の頂点を目指します。

弊社ではメディカルケア分野や IoT など新しい技術を利用した製品開発に力を入れており、今回の寄付は中嶋 秀朗教授の、「足が不自由な方や高齢者の方など、誰もが日常で自由に移動できる技術を実用化したい」との思いに賛同したものです。

※1 参照元：サイバスロン車いすシリーズ日本 2019 サイバスロンとは

<https://www.cybathlonseriesjp.com/>

